

第9期 京都市民長寿すこやかプラン

京都市高齢者保健福祉計画
京都市介護保険事業計画
京都市認知症施策推進計画
京都市成年後見制度利用促進計画
【2024年度～2026年度】

（案）



京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

「第9期京都市民長寿すこやかプラン」の策定に当たって

京都市長

松井 秀治



新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行から、間もなく1年を迎えようとしています。この間、市民の皆様のいのちと健康、暮らしを守るため、日夜御献身の医療・介護に携わる皆様、そして、感染拡大防止に御尽力・御協力いただいている全ての皆様に、改めて心から感謝申し上げます。

さて、コロナ禍や直近では能登半島地震を経験し、私たちは改めて様々な社会課題に直面しました。とりわけ「公共人材」の不足は大きな課題の一つ。まちづくりは公務員だけでなく、医療や介護をはじめ、民間を含むあらゆる人々が支える「新しい公共」を目指す。私はそのことが難局を乗り越えるエネルギーになるものと確信しています。

2025年にはいわゆる「団塊の世代」の方々が75歳以上に、そして2040年には「団塊ジュニア世代」の方々が65歳以上になられます。生産年齢人口の急速な減少が目前に迫る中、介護サービス等の持続可能性の確保、さらには今後も増加が見込まれる認知症の方々を含め、全ての人々にやさしいまちづくりが求められているところです。

こうした中、本プランでは、誰もがいきいきと暮らし続けられる「地域包括ケアシステム」の深化・推進及び「健康長寿のまち・京都」の推進を掲げました。とりわけ、新たな重点取組に「介護サービス等の持続可能性の確保」を据え、介護等の担い手確保・定着に向けた取組を積極果敢に進めてまいります。

同時に、「認知症施策推進計画」及び「成年後見制度利用促進計画」を新たに一体的に策定し、国、京都府との連携を一層進めながら、「誰一人取り残さない」持続可能な京都のまちの実現にしっかりと取り組んでまいります。皆様の変わらぬ御理解・御協力をお願い申し上げます。

結びに、本プランの策定に当たりお力添えを賜りました「京都市高齢者施策推進協議会」委員の皆様、貴重な御意見や御提言をお寄せくださいました市民の皆様をはじめ全ての関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

2024年3月

目 次

第1章	はじめに	1
1	プランの目的	
2	プランの計画期間	
3	プランの位置付け	
第2章	高齢者を取り巻く状況	5
1	介護保険事業からみる状況	
2	アンケート調査からみる状況	
3	国における2024年度の介護保険制度改正の状況	
第3章	第8期プランの取組状況	11
第4章	第9期プランの計画体系	13
1	プランの考え方	
2	プランの構成	
3	第9期プラン策定にあたっての課題と方向性	
第5章	京都市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の 重点取組ごとの主な施策・事業	22
重点取組1	健康寿命の延伸に向けた健康づくり・介護予防の推進	
重点取組2	地域で支え合う地域共生のまちづくりの推進	
重点取組3	住み慣れた地域で暮らし続けるための介護サービス等の充実と住まい環境の確保	
重点取組4	介護等の担い手の確保・定着及び育成をはじめとする介護サービス等を持続して いくための取組の推進	
第6章	京都市認知症施策推進計画・成年後見制度利用促進計画	45
1	認知症施策推進計画	
2	成年後見制度利用促進計画	
第7章	介護サービス量の推計	57
1	第1号被保険者数の推計	
2	要支援・要介護認定者数の推計	
3	施設・居住系サービスの利用者数の推計及び整備等目標数の設定	
4	居宅系サービスの利用量の推計	
5	保険給付費の見込み	
6	地域支援事業の事業量の見込み等	
7	保健福祉事業の事業費の見込み	
8	重層的支援体制整備事業（地域支援事業からの移行分）の事業量の見込み等	
参考	第1号被保険者の介護保険料	
資料編		75
1	京都市高齢者施策推進協議会	
2	市民意見の募集（パブリックコメントの実施結果）	
3	日常生活圏域ごとの地域密着型サービスの利用量の推計及び必要利用定員総数	
用語解説		82